

# 「みよし会」10月例会 若松で開催しました

夢追塾同窓会3期会の「みよし会」は10月1日(土)、若松区響灘地区の次世代エネルギーパーク(エコタウンセンター)と響灘ビオトープ(ネイチャーセンター)を見学し、北九州市のエネルギー行政と環境への取り組みの現状を学びました。

＜参加者＞(敬称略、順不同)

赤木博、坂本博子、福森明人、高城泰男、樺沢敬視、池田慶子、貞光文江、宮尾節子、畑美根子、定平育子、永吉和幸

この日は午前9時すぎ、マイカーやJRで戸畑駅前に集合。あいにくの雨模様で皆がっかりでしたが、「曇り」の天気予報に期待して例会をスタートしました。

数台のマイカーに乗り合わせて若戸大橋を渡ってエコタウンセンターへ。センターでは、スタッフの案内係の人が展示ルームを丁寧に解説してくれました。電気をはじめとする日本のエネルギーの9割強が外国に頼っていること、北九州市の省エネと新エネルギーの研究が全国のトップレベルだということを知りました。その後車で風力発電の現地に行き、巨大な風車を目のあたりにしました。そのころには雨が上がり、いつしか青空も広がって「晴れ女」「晴れ男」の自称合戦も。



エコタウンセンターでそれぞれが持参した弁当を食べた後、今度は響灘ビオトープへ。ここでも名物の「案内係」の方にユーモアたっぷりの解説をしてもらいました。展示ルームに飼われている世界一小さいネズミに興味をもち、皆まるで小学生のよう。絶滅危惧種の動物や植物が、ここにはたくさん生息していることや、多くの外来種が日本古来の動植物をいじめていることなどを知りました。

初めて訪れた人も多く、皆「勉強になった」と満足そう。好評の例会となりました。準備に奔走された福森さん、樺沢さん、ありがとうございました。

